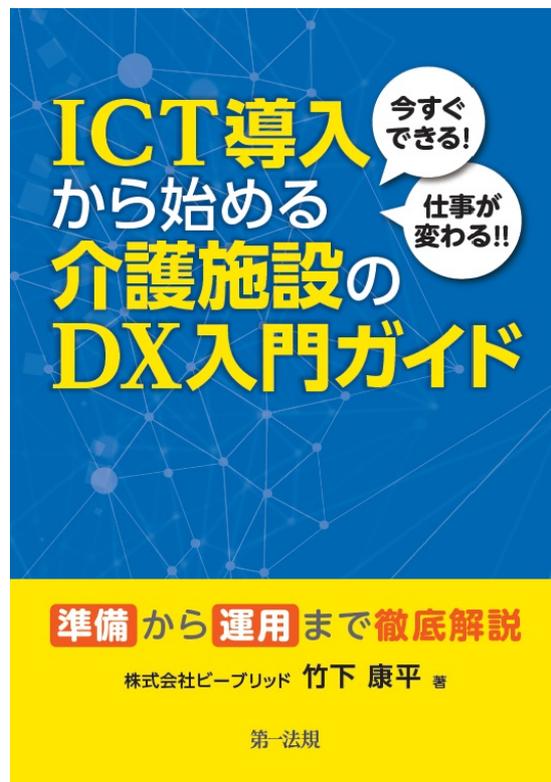


【新刊】『今すぐできる！仕事が変わる！！ICT導入から始める介護施設のDX入門ガイドー準備から運用まで徹底解説ー』 発刊！

明日からすぐ実践！介護施設のDX成功のカギをしっかりと握める！

法律関連出版物、各種データベースを提供する第一法規株式会社（所在地：東京都港区、代表取締役社長：田中英弥）が『今すぐできる！仕事が変わる！！ICT導入から始める介護施設のDX入門ガイドー準備から運用まで徹底解説ー』を2023年7月21日に発刊いたしました。



介護業界において、「業務効率化」や「DX」、「ICT化」という言葉を頻繁に目にするようになりましたが、「なにから手を付ければいいのかわからない」「ICTとかDXってつまり今の仕事はどう変わるの？」と疑問・お悩みを抱える方も多いのではないのでしょうか。

また、「予算がないから…」 「機器を導入してもきっと使いこなせないし…」と諦めてしまっている方も多いかと思えます。

本書は、そのような介護事業者の皆さまのお悩みにお答えするガイドブックです！

介護施設の「DX化」「ICT化」に関するイロハから、実際にDX化した事業所の導入事例まで、これまで数々の介護現場のDX化やICT活用を推進してきた著者がしっかり解説します。

★商品の詳細、購入はこちら！★

https://www.daiichihoki.co.jp/store/products/detail/104693.html?utm_source=prtimes

・ amazonでの購入はこちら

<https://www.amazon.co.jp/dp/4474091574>

・ 楽天での購入はこちら

<https://books.rakuten.co.jp/rb/17551852/>

・ 紀伊国屋WEB STOREからの購入はこちら！

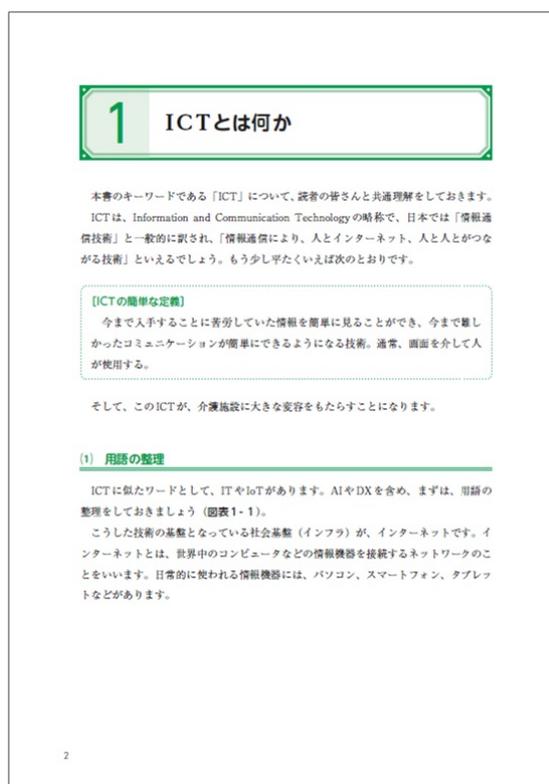
<https://www.kinokuniya.co.jp/f/dsg-01-9784474091573>

● 介護施設のお悩みと本書のポイント

①いまさら聞きにくいけど…そもそも介護施設の「DX」「ICT化」ってなに？

⇒本書では、ICTの基礎だけでなく、機器紹介やLIFEの活用方法まで広く解説。

介護施設におけるDX・ICTのイロハがわかり、今すぐ取り組みます！



②「DX化」、「ICT化」ができれば私たちの仕事って何がどう変わる？

⇒実際に「DX化」した介護施設の12の導入事例を紹介。

仕事が具体的にどう変わるのかをイメージできます！

事例6 離職率4.2%を実現した介護現場のコミュニケーション革新

ここに注目

- ICT化の遅れによる非効率的な情報共有方法と部署間の連携不足に危機感を抱いていた
- 職員に情報の受け渡しの重要性を認識してもらうためにICT化を浸透させる必要性を感じていた
- コミュニケーション不足による人間関係の悪化や施設で働き続けることへの漠然とした不安が顕微鏡につながっていた

施設の概要

施設種別	介護老人保健施設
法人名	医療法人誠晴会 介護老人保健施設ふるさとの森
職員数	103人（2022（令和4）年2月現在）
利用者数	80床（入所・短期入所療養介護） 70人/日（通所リハビリテーション・訪問リハビリテーション）
事業種別	介護保健施設サービス事業/短期入所療養介護/通所リハビリテーション/訪問リハビリテーション

抱えていた課題

医療法人誠晴会 介護老人保健施設ふるさとの森（以下「同施設」と表記）は、非効率的な情報共有方法と部署間の連携不足に課題を抱えていました。

たとえば、業務連絡は回覧板を回し、約100人いる従業員が一人ひとり押印するという方法でした。そのため、従業員全員に情報共有できるまでに1週間ほどかかったり、従業員が回覧板を読んだかどうかの確認もとれなかったり、**情報共有の質の悪さを感じていました。**

また、各専門職は部署ごとに分かれて仕事をすることが多く、部署間でのコミュニケー

③まずなにから始めれば？この先も使いこなせるか不安…

⇒予算化や組織づくりなど、導入の準備から運用におけるリスクまで、ステップに沿って解説。

各ステップで何をすべきかが明確にわかります！

1 体制・組織づくり

いうまでもなく介護の現場体制のほとんどは専門職で構成されています。当然皆さんは介護の専門家であり、ごく一部の職員を抜き業務効率化のために従事してはいないと思えます。そのため、業務効率化を主とした担当者や委員会等がないという施設がほとんどです。

また、業務効率化は一足飛びに回れるものではなく、時間をかけて継続して改善を試みる必要があり、そのためには長期的視点で体制を整える必要があります。

現時点で業務効率化を主とした委員会があれば業務改善委員会の組成から始めましょう。ただ、既に会議体が多く、会議自体が現場負担となっている施設も少なくありません。これに当てはまる施設は、リーダー会議等の既存の会議体に業務改善をテーマに加える形で進めることをおすすめします。

TIPs

本書では、本文中に出てくる重要ワードの解説や、分析方法、注意点、役立つヒントをTIPsとして記載しています。ぜひ注目して見てください。

TIPs 1 業務改善委員ってどんな人を選べば良いの？【委員の適任者とは】

- その施設の業務に詳しい職員が最適です。施設の現場は多くの人で運営されているため、意外と他部署、他フロア、他の職種といった直接関わらない業務については詳細まで見えない側面があります。業務改善委員はICT化よりも上位の概念であり、どうしても業務がより効率化できるかを考える組織であることから、業務を熟知しているメンバーを最優先で抜きましょう。
- 一方で自施設のみならず他施設の業務を知っている職員も候補となります。転職組で他法人での職務経験がある人の観点も、ときに重要になるので、費用を検討しましょう。
- 多様な意見を取りまとめるという観点では、特定職種や特定年齢層に限らないことも重要になるので、多職種、多年齢層で構成することができるとより良い議論

● 著者紹介

著者紹介



株式会社ビーブリッド
竹下康平

「全国の介護・福祉事業者の為、
現場に即したDXを推進していくことが私の役割」

現、株式会社ビーブリッド 代表取締役
(一社) 日本ケアテック協会 専務理事/事務局長
日本福祉教育専門学校 非常勤講師
(一社) 介護離職防止対策促進機構 理事
(公社) かながわ福祉サービス振興会 LIFE推進委員会 副委員長

システムエンジニア等を経て、2007年より介護事業のICT戦略等に携わったのちに、2010年ビーブリッド創業。
現在は同社の中核事業の介護・福祉事業者専門DX支援サービス『ほむさぼ』を中心に、現場のICT活用やDX推進に努めている。

株式会社ビーブリッド 代表取締役 竹下康平

介護・福祉事業者向けICT講演回数は全国トップクラス。

業界のDXご意見番として、行政や事業者団体、学校等での講演活動および多くのメディア記事等での情報発信を通じ、ケアテックの普及啓発を行う。

また規制改革推進会議（内閣府）等の会議では有識者として参画し、介護のDXに関する知見を業界の為に発信する等、多方面で活動中。

株式会社ビーブリッド : <https://www.bibrid.co.jp/>

介護・福祉業界特化型ICT支援サービス「ほむさぼ」 : <https://homesapo.com/>

目次

はじめに

第1章 なぜICTが必要なのか

1. ICTとは何か
2. 介護の質を持続するために
3. 「生産性向上」なしには、未来の利用者は守れない
4. 「科学的介護」でなぜケアの質が向上するのか

第2章 導入にあたり準備すべきこと

1. 体制・組織づくり
2. 現状分析からはじめる問題・課題・解決策
Column 進化するIT環境～年賀状の例～
3. 法人のポリシーの決定
4. スケジュール化と予算化
5. ICTの導入・選定
6. 環境整備
Column 補助金活用のすすめ
7. ICTに関する教育の実施

第3章 情報管理の徹底

1. デジタル化が進む介護施設の脅威

2.介護施設運営に潜む情報セキュリティリスク

3.介護施設が進めたい情報管理対策

Column 可用性と完全性

第4章 運用の落とし穴

1.導入後、すぐには結果が出ない（我慢の期間）

2.職員全員がICTを活用するために

3.想定どおりに活用できているかを検証する

Column システム改善への期待はほどほどに

4.運用管理委員会を作り、改善を推進する

第5章 介護施設に求められるICT機器

1.IoT（見守り支援機器）

事例1.映像データを活用したケアで訪室回数の減少とケア品質の向上へ

事例2.見守り支援機器で得たデータを職員のスキルアップに活用

事例3.夜間巡回業務の負担軽減で職員の働きやすさ、利用者のQOL向上を実現

事例4.見守り支援機器で利用者の転倒・転落事故の40%減を実現

2.介護記録（請求）ソフト

事例5.介護記録システムの活用で月179時間の業務時間削減を実現

3.コミュニケーション機器

事例6.離職率4.2%を実現した介護現場のコミュニケーション革新

事例7.有料老人ホームの運営に必要な情報を集約して多職種でのスムーズな情報連携を実現

事例8.BCP対策や利用者の家族との連絡にコミュニケーションツールを活用

事例9.採用から定着までの課題をコミュニケーションツールで解決

事例10.インカムの導入で移動や情報伝達の労力を大きく削減へ

4.業務省力化

事例11.月締め対応が半減しペーパーレス化も促進、業務効率の大幅改善へ

事例12.送迎の負担軽減で、利用者一人ひとりと向き合う時間が増え、顧客満足度が向上した事例

第6章 科学的介護（LIFE）推進のすすめ

1.科学的介護（LIFE）これまでの流れ

2.科学的介護が介護現場にもたらす効果

3.科学的介護（LIFE）に取り組むことの必要性

4.科学的介護（LIFE）実施にあたって準備すべきこと

5.今からでもできること

おわりに

• 商品概要

『今すぐできる！仕事が変わる！！ICT導入から始める介護施設のDX入門ガイドー準備から運用まで徹底解説ー』

著：株式会社ビーブリッド 竹下康平

定価：3,080円（本体2,800円＋税10%）

仕様：B5判・192頁

★商品の詳細・購入はこちら

https://www.daiichihoki.co.jp/store/products/detail/104693.html?utm_source=prtimes

・ amazonでの購入はこちら

<https://www.amazon.co.jp/dp/4474091574>

・ 楽天での購入はこちら

<https://books.rakuten.co.jp/rb/17551852/>

・ 紀伊国屋WEB STOREからの購入はこちら！

<https://www.kinokuniya.co.jp/f/dsg-01-9784474091573>

発売元：第一法規株式会社

当プレスリリースURL

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000566.000059164.html>

第一法規株式会社のプレスリリース一覧

https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/59164

【本件に関する報道関係者からのお問合せ先】

第一法規株式会社

販売促進第三部

welfare_support@daiichihoki.com